

液化石油ガス器具等関係基準の改正について(案)

平成 21 年 11 月
高圧ガス保安協会
液化石油ガス部

1. 主旨等

高圧ガス保安協会は、液化石油ガス規格委員会を設置し、液化石油ガスの供給・消費設備、液化石油ガス器具、充てん設備、検査機器等に係る設計、施工、維持管理等に関連する技術基準を現在 32 規格所掌している。

このうち、液化石油ガス器具等に関連する技術基準類については、液化石油ガス器具等関係基準分科会を設け、これらの制定、改正又は廃止のための原案作成等を行っているところである。一方、高圧ガス保安協会では技術基準作成基本方針(平成 17 年 9 月 13 日)において、「基準類は、制定、改正又は確認の日から 5 年以内に全体的な確認を行い改正等を行っていく必要がある」としており、当該基本方針に基づき「技術基準整備 3 ヶ年計画(平成 21 年度～平成 23 年度)」(以下「3 ヶ年計画」という。)を作成している。(平成 21 年 7 月 8 日液化石油ガス規格委員会承認、平成 21 年 7 月 9 日技術委員会承認)

このたび、3 ヶ年計画に基づき、次に示す技術基準に係る改正原案を作成した。本件について、液化石油ガス器具等関係基準分科会(平成 21 年 9 月 18 日開催 主査:小川輝繁先生)において審議した結果、液化石油ガス規格委員会に上申することが決議された。

液化石油ガス用調整器技術基準(KHKS0735)

液化石油ガス用継手金具付高圧ホース技術基準(KHKS0736)

2. 改正案の概要

引用している JIS 規格の改正等への対応について

- i. 引用していた「日本工業規格 C0920(1993)電気機械器具の防水試験及び固形物の浸入に対する保護等級」は「日本工業規格 C0920(2003)電気機械器具の外郭による保護等級(IP コード)」に改正されていることから、これを引用規格とし、また引用条項を改正する。
- ii. 引用していた「日本工業規格 H3250(2000)銅及び銅合金棒」は「日本工業規格 H3250(2006)銅及び銅合金の棒」に改正されていることから、これを引用規格とした。
- iii. 引用していた「日本工業規格 H3100(2000)銅及び銅合金の板及び条」は「日本工業規格 H3100(2006)銅及び銅合金の板並びに条」に改正されていることから、これを引用規格とした。
- iv. 引用していた「日本工業規格 G4303(1998)ステンレス鋼棒」は「日本工業規格 G4303(2005)ステンレス鋼棒」に改正されていることから、これを引用規格とした。

内容及び使用している用語等についての改正

- i. 基準総則中の「目的」について、表現をより適したものに変更する。
- ii. 文章中の単位の使用方法
「日本工業規格 Z8301(2008)規格票の様式及び作成方法 / 附属書 1 - . 3 単位の表し方」に基づく単位の使用方法とする。
例) パスカル Pa、メートル m、パーセント % 等
- iii. 表の作成方法
「日本工業規格 Z8301(2008)規格票の様式及び作成方法 / 6 . 6 . 6 . 4 表の見出し欄」に基づく表の作成方法とする。

3. 検討スケジュール

液化石油ガス器具等関係基準分科会	平成 21 年 9 月 18 日
液化石油ガス規格委員会	平成 21 年 11 月 16 日
書面投票	(15 日間)
パブリックコメント	(1ヶ月間)

以上